

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	生活路線バス補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	総合政策部 総合政策課			担当者	大橋 航平		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	01	公共交通機関の確保				
事業の目的	市民の移動手段の確保のため、市内の公共交通機関を維持する。						
事業の概要	収益が赤字・平均乗車密度が0.5人以上等の要件に該当する路線バスの運行経費を助成するため、生活路線バス維持対策事業補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度		4年度		5年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	13,965		14,401		17,000	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
		関東自動車(株)が運営する路線の1日当たりの運行本数	本	10	10	10	10
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	市の助成により運行本数を維持することができたが、経費の赤字が増額したため、助成額が増額となった。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	乗合タクシー事業			事業開始年度	令和元年度		
担当課	市民生活部 生活環境課			担当者	伊藤 啓司		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	01	公共交通機関の確保				
事業の目的	高齢等の理由により、車の運転ができない市民の通院、買い物等の利便性の向上を図る。						
事業の概要	旧氏家町内又は旧喜連川町内、あるいは旧喜連川町から黒須病院間において、利用者から事前予約を受け、当該利用者が希望する乗車場所から降車場所まで輸送。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	22,817	24,367	27,157			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	成果	市内移動の交通手段がなく、日常生活に困っている市民の割合	%	12.1	13.2	10	10
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	コンタ号を増便した結果、利用者が増加した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	道路台帳整備事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	渡辺 和之		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	02	安全で快適な道路の整備				
事業の目的	道路管理計画の基礎資料（地方交付税・地方譲与税の算定、道路統計調査等）として活用する。						
事業の概要	新規認定路線等について、図面・調書の修正を行うとともに、道路改良工事等により区域の変更等があった箇所については図面及び調書の修正を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	14,696	14,597	23,800			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
		道路台帳図面及び調書利用者数	人	152	727	300	300
		地方交付税算定及び道路統計調査等への活用件数	件	2	2	2	2
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	道路台帳閲覧方法を電子化することにより、市民や業者の閲覧がスムーズに行われるようになった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	道路用地事務処理事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	桑島 伸幸		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	02	安全で快適な道路の整備				
事業の目的	道路内に存在する私有地について、寄附を受けることで未登記道路の解消に努め、公共用地の適正な管理を推進する。						
事業の概要	道路内に存在する私有地を確認後、地権者から寄附を受託し、法務局に所有権移転登記を申請する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	2,827	4,257	2,741			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	成果	所有権移転の数	筆数	14	50	20	20
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	対象地リストを見直し、係全体が協力することで達成することができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	道路改良事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	笹沼 雅		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	02	安全で快適な道路の整備				
事業の目的	市道等の改良（線形改良、拡幅、排水施設改良等）により、交通の安全確保や産業・生活等の利便性を向上するために必要な道路環境を提供する。						
事業の概要	改良計画に基づき、測量・設計・物件調査・用地買収・物件補償・工事実施の手順により事業を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	151,554	188,756	356,514			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	本年度に改良された道路延長	m	741	475	700	700
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和5年度への繰越工事が発生したため、目標を達成することができなかった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	市道K1010号線他2路線道路改良事業			事業開始年度	平成 8年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	笹沼 雅		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	02	安全で快適な道路の整備				
事業の目的	現道拡幅改良し、葛城大橋を架け替えることにより、産業・生活等の利便性の向上を図るとともに、中心市街地へのアクセス強化に資する道路を提供する。						
事業の概要	改良計画に基づき、測量・設計・物件調査・用地買収・物件補償・工事実施の手順により事業を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	0	0	6,500			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	整備率	%	69	69	80	
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	用地交渉が難航しており、目標を達成できていない。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	金枝橋・金竜橋線道路改良事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	笹沼 雅		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	02	安全で快適な道路の整備				
事業の目的	喜連川市街地周辺の地域住民や道路利用者に利便性・快適性・安全性の高い道路を提供することにより、歩行者等の安全と市街地の渋滞緩和を図る。						
事業の概要	改良計画に基づき、測量・設計・物件調査・用地買収・物件補償・工事実施の手順により事業を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	0	0	0			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	成果	供用開始率	%	0	0	0	30
	成果	用地取得率	%	0	0	30	100
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	用地交渉が難航しており、目標を達成できていない。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	市道U1-10号道路改良事業			事業開始年度	平成25年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	笹沼 雅		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	02	安全で快適な道路の整備				
事業の目的	生活拠点や産業拠点を結ぶ重要な路線として、地域住民の安全性を確保するとともに、円滑に移動できる交通環境を提供する。						
事業の概要	改良計画に基づき、測量・設計・物件調査・用地買収・物件補償・工事実施の手順により事業を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	98,692	64,130	42,229			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	整備率	%	63	100	100	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	繰越工事が完了したため、目標は達成している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	市道U1540号道路改良事業			事業開始年度	令和 3年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	笹沼 雅		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	02	安全で快適な道路の整備				
事業の目的	生活拠点や産業拠点を結ぶ重要な路線として、地域住民の安全性を確保するとともに、円滑に移動できる交通環境を提供する。						
事業の概要	改良計画に基づき、測量・設計・物件調査・用地買収・物件補償・工事実施の手順により事業を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	438	0	20,899			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	整備率	%		0	0	0
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	今年度より用地交渉を実施する予定					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	市道整備補助事業			事業開始年度	令和 4年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	渡邊 和之		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	02	安全で快適な道路の整備				
事業の目的	開発行為に伴い必要となる道路の整備に要する費用の一部を補助することにより、生活道路の改善を図るため						
事業の概要	開発区域外の道路整備に対する補助						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	0	0	2,000			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	整備件数	件		0	2	2
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	令和4年度に行われた開発行為については、当該補助金を必要としない箇所であった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	道路維持補修事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	渡辺 和之		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	03	道路・橋梁の長寿命化と維持管理				
事業の目的	市道通行の安全を保つ。						
事業の概要	道路損傷箇所等について、補修の必要性・優先順位等を検討し、計画的に修繕工事を実施している。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	257,927	197,483	323,720			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	道路維持補修必要箇所への補修対応率	%	100	71.4	100	100
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	道路補修等必要件数21件に対し、15件の補修等工事を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	道路維持管理事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	渡辺 和之		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	03	道路・橋梁の長寿命化と維持管理				
事業の目的	市道の日常的な維持管理を迅速に行う。						
事業の概要	市道の管理、補修を行うことにより、道路等の適切な維持を図る。 道路及び水路等の緊急的な維持復旧を行なうことにより市民生活等の利便性及び安全性の向						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	84,612	93,520	112,884			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	道路維持管理業務委託で修繕した箇所数（氏家地区・喜連川地区）	箇所	57	76	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	市民から寄せられる補修・修繕の要望については、適宜対応している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	橋梁維持事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	渡辺 和之		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	03	道路・橋梁の長寿命化と維持管理				
事業の目的	橋梁交通の安全を図る。						
事業の概要	橋梁の定期点検を実施し維持管理を行う。 橋梁の長寿命化修繕計画に基づき、劣化改修工事を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	109,536	99,859	27,956			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	点検が完了した橋梁数	橋	37	50	1	122
	成果	点検した結果、安全が確認された橋梁数	橋	30	50	1	122
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	橋梁点検については計画どおり実施している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	道路照明灯LED化改修事業			事業開始年度	令和 4年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	渡辺 和之		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	03	道路・橋梁の長寿命化と維持管理				
事業の目的	既存の道路照明をLED化することにより、省エネルギーと地球温暖化抑制に貢献する。						
事業の概要	既存の道路照明(126基)の規格について、水銀灯・ナトリウム灯→LEDに変更する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	0	36,322	0			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	LED化改修率	%		100	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	市が管理する道路照明を全てLED化した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	道普請事業			事業開始年度	平成21年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	渡辺 和之		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	03	道路・橋梁の長寿命化と維持管理				
事業の目的	市道以外の認定外道路や私道の整備する。						
事業の概要	市道以外の認定外道路や私道の整備を、地域住民と協働で行う。 整備に必要な原材料を市が支給し、地域住民の労力奉仕で整備工事を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	1,186	1,198	2,100			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	整備件数	件	2	2	3	3
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	予算2件中2件の申請があった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	公共交通計画再構築事業			事業開始年度	平成21年度		
担当課	総合政策部 総合政策課			担当者	大橋 航平		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	現行の公共交通の運行状況の分析結果に基づき、利用しやすく、かつ、継続性の高い新たな公共交通を整備する。						
事業の概要	さくら市地域公共交通会議で協議しつつ、さくら市地域公共交通網形成計画（R2年3月策定）に掲げる目標の達成を図るための事業を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	224	4,484	4,408			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	成果	市内のバスに満足している市民の割合	%	39.9	35.3	45	45
	成果	市内の乗合タクシー事業に満足している市民の割合	%	68.5	62.3	70	70
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	コロナ禍による利用者数の減少の影響は、改善しているが回復しきってはいない。市民にとって利用しやすい公共交通の将来像を検討し、利用者数増加及び満足度向上を目指す。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		